2年	科目	総合英語BII	講義	前期	担当	M, S, C　藤井数馬　E　梶原彰子 D　成田智子
全学科共通		General English B II	必修	1履修単位		M, S, C: FUJII, Kazuma E: KAJIWARA, Akiko D: NARITA, Tomoko

授業の概要

高専1年次までに修得した知識を土台に4技能を使って英語で情報を受け、発する力の獲得を目指す。教科書の読解、音読、音読筆写、英作文、定期的な単語テストを行う。ペアワークやグループワークを取り入れて積極的に英語を使う態度と能力を身につけることを目指す。獲得した能力や授業内容の理解度を試験によって測る。英語のインプット量は検定教科書のみでは不十分であることから音声教材や多読多聴教材を適宜使用する。

本校学習・教育目標（本科のみ）		目標	説明
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

プログラム学習・教育目標 （プログラム対象科目のみ）	実践指針 （プログラム対象科目のみ）	実践指針のレベル （プログラム対象科目のみ）

授業目標

教科書が扱う説明文や物語の内容を英語または日本語で説明できる。
学習した文法や語彙を用いて自分の考えを50語程度の英文で書くことができる。
YL1．2以下の教材であればwpmが100以上の速さで読め、内容の7割以上を理解できる。
TOEIC Bridgeで140点以上を取れる英語力を身につける。

授業計画

第1回	イントロダクション	授業の概要の説明、春休み課題テスト、Chapter 1
第2回	Chapter 1	Hope for Life
第3回	Chapter 1	Hope for Life
第4回	Chapter 1	Hope for Life
第5回	Chapter 2	Motivating Yourself
第6回	Chapter 2	Motivating Yourself
第7回	Chapter 2	Motivating Yourself
第8回	前期中間試験	
第9回	テスト返却、Chapter 3	テスト返却、解説、Japanese Culture
第10回	Chapter 3	Japanese Culture
第11回	Chpater 3	Japanese Culture
第12回	Chapter 4	The Fight for Rights
第13回	Chapter 4	The Fight for Rights
第14回	Chapter 4	The Fight for Rights
	前期末試験	
第15回	テスト返却	テスト返却、解説

評価方法と基準	定期試験（前期中間、前期期末)70-75%、平常点(単語等の小テスト、速読試験、授業に対する意欲と関心、提出課題）30－25%の重みとして評価し、60点以上の修得で合格とする。
教科書等	『NEW STREAM English Communication II』(増進堂)、『NEW STREAM English　Communication IIWORKBOOK 』(増進堂)、 『Word-Meister 英単語・熟語3000』(第一学習社)、『TOEIC Bridge公式ワークブック』(TOEIC運営委員会)、 英語多読・多聴用図書、英和辞典
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。